



## 産科医の経験とホスピスケア (1)

### 医療法人パリアン理事長 川越 厚



“光陰矢のごとし”ではないが、25歳で医師になってから早や42年。その42年間のうち、最初の17年間は産婦人科医として、その後

在宅ホスピス医として僕は働いてきた。その年月を振り返った時、在宅ホスピス医として働いた期間のほうが産婦人科医としての時間よりも長くなったことがわかるのだが、これはちょっとした驚きだ。しかし今の自分の仕事は、産婦人科医としての経験に支えられていることは否めない。最近折に触れ、そのことを実感している。

産婦人科のことを業界ではギネ、あるいはギネトコと呼んでいる。これは婦人科、産科を意味するドイツ語のギネコロジー、トコロギーに由来するのであるが、要は二つで一つだということだ。産婦人科を専攻する医師は産科も婦人科も一通り学ぶ。研修期間が終了すると、そのどちらかを自分の専門領域として選択するが、それは専門性の問題であり、産婦人科を選んだ限り、一部の例外（例えば、がん専門病院で働く婦人科医）を除いて、産科、婦人科の区別なく両者の診療に携わることになる。僕は婦人科腫瘍学を専門としたので、婦人科診療に携わることが多かったが、どちらかというと産科の臨床の方が好きだった。

それではホスピス医として働く今を考えると、産科、婦人科のどちらの影響をより強く受けたかということ、間違いなく産科だと思う。ホスピスケアが死の看取りに関わるとすれば、産科よりも婦人科の影響のほうが大きいと考えるのが普通だと思うが、僕の場合はその逆なのである。不思議な感じがする。

去る6月30日、横浜で全国助産師教育協議会（略称、全助協）の創立50周年記念式典が開かれ、僕はその席に招待された。この記念すべき会になぜ僕が招かれたかということ、賛育会病院長時代の数年間、僕は全助協（当時は助産婦協議会と言っていた）の会長を務めたからである。

席上、僕は簡単な挨拶をした。

「私たち産科医が安心して仕事に専念することができるのは、産科医と助産師が仲良しだからです。自分の専門は婦人科腫瘍学ですが、ホスピス医としての今の自分を支えているのは、間違いなく産科の臨床だと確信しています。

医療に医師と看護師の信頼関係がいかに重要かを気づか



せてくれたのは、産科医の経験があったからこそです。」

会場を去るに当たり、玄関に勢ぞろいした現役理事の中に、我部山キヨ子京都大学教授（母性看護、助産学）の顔を見つけた。

「カベちゃん、僕のあいさつどうだった？」

「ずいぶん話がうまくなったわね。でもよかったよ。」

彼女は、僕が研修医時代の友人（当時彼女は東大助産婦学校の学生だった）である。その彼女がほめてくれたので、僕はとてもうれしかった。

産科医としての経験が、いかに今の自分の力になっているか。そのことをこれから紹介したいと思う。

（次号に続く）

## パリアン勉強会

## テーマ「死亡診断に関する事前約束指示の改定」

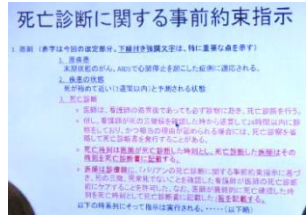
講師：医療法人社団パリアン理事長 川越 厚

末期がん患者に対する医行為に関して、パリアンではクリニック川越と訪問看護パリアンとの間で、3つの事前約束指示（①一般的な医行為に関する②疼痛緩和に関する③死亡診断に関する）を結んでいる。事前約束指示は、標準約束指示と個別約束指示で構成される。今回、死亡診断に関する個別約束指示の内容の一部を改定することとなり、7月4日（金）に勉強会を開催した。

医行為が必要な事態（患者の死）の発生に際して、医師法20条では、先ず医師の診察が必須で、それ以前は何人も死体に触れることができないことになっているが、末期がんで死がきわめて近いと予測される状態の患者に対しては、「死亡診断に関する個別約束指示」により、「死亡報告書」を看護師が作成することで、医師の診察前に遺体に触れることが許される。

今回の「死亡報告書」の記載事項の改定で、①家族からの連絡時刻、②看護師が死の3徴、異状死でないことを確認した時刻も記載することになった。

医師の説明の後には、口頭での指示書の運用について議論が深まっているか、ヘルパーの業務に関する約束事はあるか、医師が不在の時の対応などについて質問が出ていた。



## ケース・カンファレンス

## テーマ「独居の非がん患者の看取りについて」



今回の事例は60代の独居患者で、非がんならではの支援の難しさを中心に振り返りが行われた。事例から学んだこととして次の3点が話し合われた。①非がん患者の予後予測について：昨年急激にADLが低下してきたため、ケア体制の再構築を図ってきた。脱水・誤嚥に対しては適切な医療を受けることで回復することもあり、必要な医療と予後予測が困難であった。②介護保険での看取りについて：

末期がん患者の場合は医療保険の訪問看護を行うが、がんではないこの患者の場合は原則としては介護保険、症状悪化時に医療保険での訪問看護となる。特別指示書の発行や利用する保険の変更など、医師やケアマネジャーと密に連携しながら進めていく必要があった。介護保険の限度額内での利用サービスの調整や要介護度の区分変更に関して訪問看護も協力した。③複雑な人間関係について：患者本人は日常的に介護に関わっている友人を信頼していたが、ケアについては介護に積極的に関わっていない家族の確認が必要であるなど困難が生じた。

## スカイプでハワイと結んだ7月18日のサロン・ド・パリアン

梅雨明けを間近に控えた7月18日、サロン・ド・パリアンのハワイアン・デイが催された。今回はスカイプを利用して、パリアンの姉妹ホスピスであるホスピスハワイのケンさんにサロン・ド・パリアン(がんサロン)に参加してもらおうという初の試みだった。

スカイプがつながると、70インチの大画面からはみ出そうな大写しのケンさん。いつも通りの穏やかな表情で、「アロハ！」と元気な声で挨拶してくれた。

今回参加して下さった患者さんは4名で、川越厚先生がケンさんに画面に映った一人一人を紹介し、終始和やかな雰囲気での交流が行われた。

一段落した後でケンさんからメッセージをいただいた。『ホスピスハワイにとってパリアンとの関係はとても大事。たくさんの事を学ばせてもらっている。自分たちは患者さんをケアする立場であるけれども、患者さんから教わる事が多く、自分も患者さんからケアされていると

感じる。患者、医師、看護師、ボランティアなど立場はそれぞれ違うけれど、立場を超えて人と人とのつながりを大切にしていきたい』というケンさんの言葉が心に残った。このメッセージを忘れずに、今後もボランティアとして、一人の人間として出来ることをしていきたいと思う。

スカイプ通信の後、患者さんと一緒にハワイアン・ロコモコランチをいただき、最後にボランティアの田中めぐみさんのウクレレとハワイの歌『カイマナヒラ』（ハワイ語でダイヤモンドヘッドのこと）を聴いた。太平洋の彼方にあるハワイが身近に感じられたひとときだった。(T. N)



**ケース・カンファレンス テーマ「痛みの緩和と患者・両親への支援」**

両親と同居の40代女性患者の疼痛コントロールと、これから患者・家族をどう支えていくかについて話し合われた。



電気自動車に試乗する看護師

**電気自動車第1号車が配備**

パリアンでは川越理事長が心待ちにしていた電気自動車第1号が7月に配備され、看護師達が試乗した。車種はトヨタCOMS(コムス)。一人乗りで单相100Vで手軽に充電でき、満充電で60kmまで走行できる。狭い道でもスイスイ入っていけるので、墨東地区の訪問には打ってつけた。しかし、エアコンとカーナビがないので、熱中症に注意するとともに、遠方への移動には注意が必要だ。

**スタッフ紹介 第3回 事務・研究・ヘルパー・ケアマネ・運転手の巻**

①星座②出身地③趣味④一言

西本保江(事務長) ①牡牛座②東京③洗濯、ゴルフ④

医療者の皆さんのサポートができるよう、事務業務を頑張りたいと思います。

大館ゆかり(事務) ①山羊座②江戸川区③買い物、マンガ・アニメ鑑賞④パリアンの関取と言われているが、普通の女の子です。明るく元気に頑張ります。

芳賀千絵(事務) ①魚座②東京③ショッピング、海外ドラマをみる④パリアンに来て、あっという間に7年が経ちました。月日が経つのが早いと実感しております。

大八木広美(事務) ①双子座②東京③トリミング④入職して3ヶ月、毎日が勉強です。「初心」・「感謝」を忘れず、勤務してまいります。

松浦志のぶ(研究) ①射手座②静岡県③子どもと遊ぶこと④パリアンに入って早や13年、患者さんやスタッフからたくさんの事を学ばせていただいています。

内田千佳子(研究) ①獅子座②神奈川県③音楽(クラシック・ロック)鑑賞、時々ボーリング④今だに新たな気づきや学びがあるものの、そのことを思い出すまでに時間がかかり疲れます。

小磯幸子(ケアマネジャー) ①蟹座②東京③スキー、ジョギング、手芸④一人ケアマネの小磯です。元気印がトレードマーク。早とちりな私ですが、よろしく願いいたします。

早川浩美(ヘルパー) ①蠍座②東京③親父バンドで歌うこと、独りカラオケ④東日本大震災翌日、あこもの講演会で博美先生に出逢い、気がつけばパリアンのヘルパーになって1年10ヶ月が経ちました。至らないところばかりですが、スタッフの皆さんに支えられ、助けられ、感謝しています。

関口美奈子(ヘルパー) ①天秤座②東京大田区蒲田③サイクリング、ベランダ菜園④患者さん・ご家族のあたたかさに励まされております。よろしく願いします。

前平長城(運転手) ①獅子座②中国の満州(本籍鹿児島県)③スポーツ(筋トレとランニング)、楽器の練習④パリアンで働かせて頂き、感謝の気持ちで一杯でございます。これからも、頑張りたいので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

杉山光男(運転手) ①双子座②東京③将棋④ビールはモルツが好きで、食いしん坊ですが、グルメではありません。

江口 勇(ボランティア担当) ①牡羊座②東京墨田区③江戸文字(勘亭流)、鎌倉彫、ハーモニカ④ボケ防止にあの手この手で、趣味を広げています。効果は出るでしょうかねえ。

今井敏子(まかない) ①獅子座②広島県③食べる④新しいことにチャレンジできて、日々感謝です。悩みは体重。「その一口が豚になる」とわかっちゃいるのですが……。



## かわごえ小児科クリニック



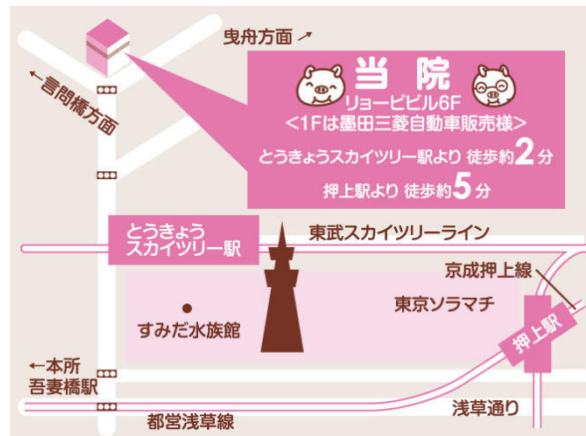
## 9月1日開院のお知らせ

この度、「かわごえ小児科クリニック」を開院することになりました。スタッフ一同、患者さまとのコミュニケーションを大切に地域に密着した診療を心がけていこうと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

院長 川越 信

診療時間	9:00 12:00	14:30 16:00	16:00 18:30
月	●	◎	●
火	●	◎	●
水	/	/	/
木	●	◎	●
金	●	◎	●
土	●	/	14:00 16:00
水曜日・日祝日 休診 ◎…予防接種・乳児健診			



東京都墨田区向島 3-33-13 リョービビル 6F

TEL 03-5637-8353

<http://www.kawagoe-ped.com/>

## 新人ボランティアも参加し、第2回ボランティアの集い開かれる

平成26年度第2回ボランティアの集いは、7月19日午前10時30分から墨田区立川2-1-9 KHハウス1階研修室で、6月のボランティア講座を修了した新人ボランティア4名を含め18名の参加で開催された。

川越厚先生の特別講義（パリアンの語源、パリアンが「チームで緩和ケアをする」という“チーム”の重要性についてなど）に引き続き、各ボランティアの活動報告があった。

## 8月のパリアン勉強会・カンファレンスは休会

### 8月のボランティア活動予定

- ・訪問ボランティア：8月8日（金）午後2時30分
- ・サロン・ド・パリアン：8月1日、8日、22日、29日（15日は休み）
- ・命日カード：8月21日（木）午前10時～
- ・手作りボランティア：8月26日（火）午後1時～3時
- ・事務ボランティア：8月23日（土）午後1時～



### 編集後記

朝8時半、一斉に看護師が患者さんに電話をかける。その日の訪問予定を伝えるとともに患者さんの状況確認のためだ。9時、情報共有のための医療スタッフミーティングが行われる◆それから、看護師は大きなリュックと手提げ袋に看護道具や薬を詰めて患者さん宅に向かう。また、訪問看護パリアンは24時間体制なので、夜も必ず誰かが緊急呼び出しに備えている。大変な仕事をもくもくとこなしている◆患者のフィジカルな面や精神的な痛み、家族の人間関係などを、どのように対応したかを知り、訪問看護師の大変さを実感したいから、最近、私はカンファレンスに出来るだけ出席するようにしている。患者や家族のために全力投球している看護師にエールを送りたい。(I. E)

# パリアン 公開定例 カンファレンス

在宅ホスピスケア 独居シリーズ①

「患者に関わるさまざまな人の思いと  
その調整」

発表者:訪問看護パリアン 看護師 浦田和美

日時:2014年9月5日(金) 18:00~19:00

場所:墨田区立川2-1-9 KHハウス1階

パリアン研修室 ※パリアンは本年1月に移転しました

～どなたでもご自由にご参加ください～



参加ご希望の方は、お名前と  
ご所属をFAXまたはメールで  
下記へお送りください。

医療法人社団パリアン カンファレンス係

FAX : 03-5669-8310

Mail: conf@pallium.co.jp

お問合せ TEL: 03-5669-8302

